

岡山県環境基本計画(エコビジョン 2040)の 令和 4 (2022) 年度進捗状況について

岡山県環境基本条例に基づく、環境の保全に関する総合的な計画である岡山県環境基本計画の令和 4 (2022) 年度進捗状況の概要は次のとおりである。

1 計画の概要

(1) 期 間

長期的な視点：令和 22 (2040) 年頃

短期的な取組：令和 3 (2021) 年度～令和 6 (2024) 年度

(2) 内 容

① 計画の目指す姿(令和 22 (2040) 年頃)

より良い環境に恵まれた持続可能な社会

～山から海まで 豊かな岡山を 次世代へ～

② 具体的な取組

ア 基本目標

I 気候変動対策(緩和・適応)の推進

II 循環型社会の形成

III 安全・安心な生活環境の保全と創出

IV 自然と共生した社会の形成

イ 横断的な視点

I 環境の未来を支える担い手づくり

II 環境の未来を創る経済振興

2 令和 4 (2022) 年度進捗状況

達成レベル別重点プログラム数 (3段階評価)

区 分		重点プログラム数	達成レベル別			平均
			1	2	3	
基本目標	I 気候変動対策(緩和・適応)の推進	22	3	14	5	2.09
	II 循環型社会の形成	21	0	13	8	2.38
	III 安全・安心な生活環境の保全と創出	19	1	13	5	2.21
	IV 自然と共生した社会の形成	16	1	14	1	2.00
横断的な視点	I 環境の未来を支える担い手づくり	10	3	6	1	1.80
	II 環境の未来を創る経済振興	14	1	9	4	2.21
全体		102	9	69	24	2.15

3 各重点プログラムの進捗状況

参考資料のとおり

4 今後の進め方

- ・岡山県環境審議会に計画の進捗状況を報告し、さらなる効果的な取組方法について、専門的見地から助言をいただくことなどにより、計画の一層の推進を図る。
- ・協働の場である「エコパートナーシップおかやま」などを通じて、県民、事業者、市町村等と計画の目標、進捗状況、課題等を共有し、各主体の参加と協働により計画を推進する。

(参考) 達成レベルの評価方法

1 指標があるもの

(1) 評価基準

進捗率	達成レベルの評価基準	例：R4年度（上限なし）の場合
$\frac{\text{実績値}-\text{策定時}}{\text{目標値}-\text{策定時}} \times 100$	3：進捗率がA%以上 2：進捗率がB%以上A%未満 1：進捗率がB%未満 （A及びBは下記進捗率を参照する）	3：60%以上 2：40%以上60%未満 1：40%未満

※目標値：努力目標(R6)の数値、策定時：R1の数値、実績値：R4の数値

※進捗率により評価できない指標については、個別の基準で評価している

(2) 対象年度ごとの進捗率

対象年度		R2	R3	R4	R5	R6
上限なし	A	20	40	60	80	100
	B	10	20	40	60	80
上限あり	A	18	36	54	72	90
	B	8	16	34	52	70

※「上限あり」とは、目標値が「全市町村」や「100%」など、実績値が目標値を超えることができない指標

2 指標がないもの

3：計画に沿った事業等を効果的に実施した
 2：計画に沿って事業等を実施した
 1：事業等を実施していない

※「効果的に実施」とは、計画以上の実施回数、問題点等の改善等により実施したものなどを指す。